

骨密度検査の勧め

閉経後の女性、ご高齢の男女、糖尿病・慢性呼吸器疾患・慢性腎臓病などの病気を抱えている方、ステロイド治療薬を服用されている方は、一度骨密度測定をお勧めいたします。

整形外科にかかれていない方でも、当院に通院されている方であれば、お気軽に検査を受けられる体制になっています。以下に「検査の受け方」と「検査後」の流れを説明します。

.....〈骨密度検査の受け方〉.....

開始：令和4年4月より

対象：当院に通院されている50才以上の方
何科でも構いません。

①備え付けの【骨密度測定申込用紙】に記入して整形外科窓口に提出する。

②次回の通院日(かかりつけの科)に検査の予約をする。(午前)

③検査当日に整形外科の外来で結果を報告します。(平日の午前)

※一度検査を受けて正常であった場合、その後2度目の申し込みは受け付けていません。

【骨粗鬆症治療開始基準】
に従って治療が必要な方は治療開始をお勧めします。



(文責：整形外科 西山 嘉信)

病気に関するミニ講座

「骨粗鬆症」あなたの骨は健康ですか？

骨粗鬆症が背景に潜む骨折は手首、上腕、背ばね(脊椎圧迫骨折)、足のつけ根(大腿骨近位部骨折)と連鎖していくことで最終的には脳卒中などと同じように命の危険もあることから『骨卒中』と呼ばれています。



骨粗鬆症は骨折してからでないとい発見されにくく、静かに進行していく病気です。

ここでは骨粗鬆症になりやすい方のサインや生活習慣をご紹介します。当てはまるものがある方は骨粗鬆症に興味を持って今の生活習慣をより健康的なものへと変えていくことが大切です。

- ・背中や腰が痛くて丸くなってきた
- ・20歳のときの身長から2cm以上低下している
- ・家族が骨粗鬆症と診断されたことがある
- ・家族が大腿骨近位部骨折したことがある
- ・運動習慣があまりない
- ・日光にあまりあたらない
- ・乳製品、青魚や卵、豆腐や納豆、海藻や緑黄色野菜をあまり食べない
- ・喫煙やお酒・コーヒー・紅茶をたくさん飲む習慣がある



あなたは骨の治療を受けた方が良いのか分からないと悩んでいませんか？

骨密度測定や骨粗鬆症の評価を希望される方、過去に骨折したことがあり現在骨の治療を受けられていない方は整形外科を受診されることをおすすめいたします。

現在の骨の状態を評価し、あなたに合った食事・運動・生活のアドバイスをさせていただきます。

(文責：骨粗鬆症マネージャー 安達菜摘)

Numazu せいの通信

No.229
2022
Mar.
3



■ **せいのさんぽ**③
骨粗鬆症リエゾン外来のご紹介

■ **骨密度検査の勧め**
整形外科 西山 嘉信

■ **病気に関するミニ講座**
骨粗鬆症マネージャー 安達 菜摘
「骨粗鬆症」あなたの骨は元気ですか？

■ **お知らせ**
聖隷沼津病院ホームページ
面会禁止

■ **外来担当医一覧表**

骨粗鬆症リエゾンサービスチーム



TEL.055-952-1000
FAX.055-952-1001
〒410-8555 沼津市本字松下七反田902-6
http://www.seirei.or.jp/numazu-hp/



骨粗鬆症リエゾン外来



診療内容

骨粗鬆症リエゾン
外来ってなに？

リエゾンとは、フランス語で「連絡、連携」という意味です。当院では、2021年4月より骨粗鬆症リエゾンサービスチームを立ち上げ、足の付け根や背ばねの骨折をして入院治療された方が退院後も骨粗鬆症の治療を継続できるような取り組みを開始しています。骨粗鬆症リエゾン外来では、多職種チームで連携し、骨の評価や治療薬の選択、リハビリ、生活習慣のアドバイスを行うことで骨折連鎖を止めるための支援をしています。



医師
問診・二次骨折リスク評価



看護師
問診・二次骨折リスク評価



診療放射線技師
画像検査

リエゾンサービスチーム



骨粗鬆症マネージャー
再骨折の予防
治療継続のための
指導と教育



管理栄養士
栄養指導



理学療法士
運動指導

チームで医療を提供します!!